

事務事業名	観光施設整備事業			会計	一般会計				
H27担当課等名	観光課		H27係等名	観光係、エコツーリズム係		H26係等名	観光係、エコツーリズム係		
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり						
	施策	12	未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化						
目的	対象(誰・何を)	観光施設			対象指標	指標名及び単位		26年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	観光客の利便性と快適性の向上を図る				整備を必要とする観光施設(カ所)		14	
	向上させたい上位施策の成果指標	観光消費額(億円)							
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	定性目標	観光施設を整備することで観光客の利便性と快適性を向上し、観光地としての魅力を高めリピーターの確保につなげる。							
事業概要	観光客の利便性を高め、受入環境を向上させるため、観光地等の施設改修及び四阿、看板、遊歩道等の施設を整備する。団塊の世代が山岳観光に高い関心を示している中で、登山道及び誘導ルート of 安全整備を実施する。施設の安全利用と保守につながる環境整備事業を実施する。								
26年度事業内容	事業内容				名称		活動指標		
	1 観光施設の整備改修工事 (1) 沢城湖周辺整備 (2) 大平宿民家等整備 (3) 自然遊歩道等安全対策整備				(1) 整備個所数 (2) 整備個所数 (3) 整備個所数		(1) 3カ所 (2) 7カ所 (3) 2カ所		
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		4,317	3,760	3,272	4,193				
国庫支出金									
県支出金									
起債									
その他									
一般財源		4,317	3,760	3,272	4,193				
人件費計(千円)②		1,609		1,788					
正規職員所要時間		450		500					
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		5,926	3,760	5,060	4,193				
事業内容・目標達成状況の振り返り	老朽化した施設を中心に整備を行った。								
改革改善の考え方	①問題点	老朽化した施設が多い。							
	②改革提案	限られた予算の中、安全性を最優先した環境整備を行っていく。							